

令和5年度 61回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護学概論	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	1年後期 令和5年12月～	単位数/時間	1単位/30時間
担当講師名	村井 優子	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師免許
授業の概要	成人期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴と健康の維持・増進および健康回復に向けた看護の必要性を理解する。また、成人期のあらゆる健康レベルにおいて、看護を展開できる知識・技術・態度を習得する。		
到達目標	1. 成人期にある対象の発達段階の特徴、発達課題が理解できる 2. 成人各期の健康問題の特徴が分かり、必要な援助を考えることができる 3. 看護を実践していくために有用とされる理論について理解できる		
事前学習内容	教科書や文献を事前に熟読し、積極的に講義や演習（グループワーク）に臨むこと		
成績評価の方法	終講試験（80点）、課題レポート（20点）課題の提出状況によっては減点対象とする		
使用テキスト	1. 成人看護学総論 成人看護学 [1]（第16版第2刷、医学書院） 2. 看護のための人間発達学（第5版、医学書院） 3. 看護実践に活かす中範囲理論（第2版第6刷、メヂカルフレンド社） 4. 国民衛生の動向 2023/2024		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	成人の特徴と生活		講義
第2回	各発達段階の特徴（1）：発達課題・発達危機（エリクソン／ハヴィガースト）		講義・演習
第3回	各発達段階の特徴（2）：成人期の区分、成長・発達の特徴		講義・演習
第4回	成人を取り巻く環境と生活からみた健康		講義
第5回	健康をおびやかす要因と看護		講義
第6回	成人を対象とした保健・医療・福祉システム		講義
第7回	ヘルスプロモーションと看護		講義
第8回	成人への看護アプローチの基本（1）：アンドラゴジー、エンパワメント		講義・演習
第9回	成人への看護アプローチの基本（2）：自己効力理論、フィンクの理論		講義・演習
第10回	成人への看護アプローチの基本（3）：患者と看護師の人間関係		講義・演習
第11回	成人への看護アプローチの基本（4）：集団へのアプローチ、チームアプローチ		講義・演習
第12回	セルフマネジメント教育（1）：アドヒアランス、病みの軌跡		講義
第13回	セルフマネジメント教育（2）		講義・演習
第14回	人の死について、死の受容過程、死生観		講義
第15回	経過別看護の特徴：急性期、回復期、慢性期、終末期		講義
	終講試験（45分）		
履修上の留意点	1. 授業では「考える」ことを習慣化してほしい 2. 相手の考えを尊重しながら、自身の考えを積極的に述べ、自身の考えを更に深めてほしい 3. 受け身ではなく、主体的に授業に臨むよう心掛けてほしい		